

答はすべて解答用紙に記入せよ。

1 新しい高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)について、後の問に答えよ。

問1 福祉科の改訂の要点について、①～⑦にあてはまる適切な語句を語群ア～シの記号で答えよ。

福祉ニーズの高度化と(①)、倫理的課題や(②)能力・多職種(③)の推進、(④)・介護ロボットの進歩などを踏まえ、福祉を通して、人間の(⑤)に基づく地域福祉の推進と、(⑥)な福祉社会の発展を担う(⑦)を育成する。

語群	ア ICT	イ 福祉用具	ウ 高齢化	エ 多様化	オ 社会人	カ 職業人
	キ 介護過程	ク 持続可能	ケ 協働	コ 連携	サ 尊厳	シ マネジメント

問2 次の文章は、各科目の内容の範囲や程度についての配慮事項である。①～③にあてはまる適切な科目名を、語群ア～ケの中から一つ選び、記号で答えよ。

【介護総合演習】

事例研究については、「(①)」や福祉活動の体験などから得た事例等の考察や介護計画の作成などを行うこと。

【こころとからだの理解】

老年期の理解と日常生活については、老年期の定義、高齢者の医療制度などについて「(②)」や「(③)」と関連付けて扱うこと。

語群	ア 社会福祉基礎	イ 介護福祉基礎	ウ コミュニケーション技術	エ 生活支援技術
	オ 介護過程	カ 介護総合演習	キ 介護実習	ク こころとからだの理解
	ケ 福祉情報			

2 次の各文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×で答えよ。

- 合計特殊出生率とは、15歳から45歳までの女性の年齢別出生率を合計したものである。
- 日本の公的年金制度における保険運営は、日本年金機構が行っていたが、2010年1月から社会保険庁が行っている。
- 準言語には、語調・声の抑揚・声の質・テンポなどが含まれる。
- グループワーク上での波長合わせとは、利用者が、グループ活動の開始前に個々のメンバーと波動を合わせておくことである。
- 弱視(ロービジョン)の人は、白黒反転文字という、白地に黒の文字の方が読みやすい場合もある。
- 良肢位とは、関節がある位置で可動性を失った場合にも、日常生活を送るうえで最も支障が少ない肢位をいう。
- 成年後見制度とは、判断能力が十分でない認知症高齢者などの財産や権利を保護するための憲法上の制度である。
- チョークサインは、窒息を起こし、呼吸ができなくなったことを他人に知らせる世界共通のサインである。
- ホメオスタシス(恒常性)とは、生命を維持するためにからだの内部の環境がほぼ一定に保たれる性質である。
- 燃え尽き(バーンアウト)症候群とは、希望に燃え意欲的な人が、結果として報われたことにより、達成感が満ちあふれた状態をいう。

3 社会福祉の歴史上の人物について関連のあるものを、A群とB群からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

人 物	A 群	B 群
① メアリー＝リッチモンド	a 孤女学院(滝乃川学園)	ア 日本で最初の身体障害児の入所施設
② エド＝ロバーツ	b 整肢療護園	イ 日本で最初の知的障害児施設
③ ウィリアム＝ベバリッジ	c 自立生活運動(IL運動)	ウ 著書「この子らを世の光に」
④ 糸賀一雄	d 養育院	エ 著書「ソーシャルケースワークとは何か」
⑤ 渋谷栄一	e ケースワークの母	オ 民間の篤志家による老人ホーム
⑥ 高木憲次	f 近江学園	カ 身寄りがなく病弱な高齢者や障害者などの入所施設
⑦ 石井亮一	g 社会保険および関連サービス	キ 標語「ゆりかごから墓場まで」
⑧ 岩田民次郎	h 大阪養老院	ク アメリカで最初に自立生活を始めた重度障害者